

市民学習会「子どもの成長から考える  
小中一貫教育ってなあに？」  
7月26日(土)10:00～  
和泉シティガ B1多目的室(和泉中央駅隣)  
お話: 山本由美さん(和光大学)  
学校給食の報告もあります。

# 泉北教育

NO.1973 2014.7.22.  
発行 泉北教職員組合  
〒594-0071 和泉市府中町6-12-2  
0725-41-1953 Fax0725-44-6570  
E-mail senboku@gf6.so-net.ne.jp

## 和泉の学校給食 コストを比較 直営 VS. 委託

委託費及び直営費の比較 (和泉市教委が作成したコスト比較表)

食数	委託費	直営費	差額	該当校	効果額
～200	10,237,500	9,628,285	609,215	3校	1,827,645
201～300	10,509,538	13,601,368	3,091,830	3校	9,275,490
301～500	13,458,137	16,428,969	2,970,832	5校	14,854,160
501～750	15,388,730	19,256,570	3,867,840	7校	27,074,880
751～900	17,884,994	26,057,254	8,172,260	6校	49,033,560
901～1,100	20,259,500	28,884,855	8,625,355	6校	51,752,130
1,101～13,00	23,474,000	35,685,539	12,211,539	1校	12,211,539

委託費: 他市の食数別委託額の1校平均 直営費: 和泉市の平成24年度の決算ベース 162,374,114

平成24年度(2012年度)和泉市教育委員会学校給食費

### 市教委の比較表のごまかし

市教委の比較表によると民間委託した場合、年間約1億6千万円コストが低くなります。

しかし、このコスト比較表には大変なごまかしがあります。この表は和泉市の小中学校31校すべてを現在の直営の調理員さんを全員解雇して、一斉に民間委託したとした場合の直営との比較です。和泉市は、そんなやり方で来年4月より民間委託にするとはいいていません。実際に、やろうとしているのは正職の調理員さんが退職しても、新規採用で正職を補充せず正職員の異動と非常勤の解雇によって完全欠員になった学校をつくりだしその学校を民間委託にしていこうというやり方です。

コストの比較をするというのなら実際の民間委託

の進め方に基づいて年ごとにシミュレーションしなければなりません。ところが市教委はこのシミュレーションをどういうわけかやろうとしません。そこで、泉北教組がかわりに試算してみました。

来年度正職(再任用)3名退職が予定されています。これに対して直営と民間委託のコストを比較しました。民間委託の方が約80万円高くなりました。このペースで民間委託が導入されると5年で累積約1200万円民間委託の方がコスト高となります。民間委託で年間1億6千万円もコストが低くなるというのは全くのごまかしといわざるをえません。

### 民間委託年間80万円、5年で累積1200万円のコスト高

H27年度:正職(再任用)3名退職

#### 直営

3名の欠員を新規採用で補充

昨年度と比べて新たに発生する費用			
	1人あたり人件費	人数	費用
3名正職(再任用)退職	3,495,281	-3	10,485,843
3名新規採用	3,500,000	3	10,500,000
費用総計			14,157

#### 民間委託

A校:正職3名配置、非常勤2名、食数751～800を民間委託

昨年度と比べて新たに発生する費用			
	1人あたり人件費	人数	費用
3名正職(再任用)退職	3,495,281	-3	10,485,843
正職3名を他校に異動。	0	3	0
非常勤2名を解雇	2,520,575	-2	5,041,150
臨時調理員人件費等削減	307,026	-5	1,535,130
民間委託費用	食数:751～800		17,884,994
費用総計			822,871
民間委託の方が80万円コスト高			-
			808,714



本当は高くて民間委託

あなたも泉北教職員組合へ